

宇和島闘牛の歴史

年代	あゆみ
享和年代	古文書に「闘牛」の記述
安政3年	郡奉行より代官に宛てた文書から、興行化した闘牛が人々を熱中させていたことが記されている。
明治・大正期	闘牛の禁止ないしは規制が繰り返された。
昭和初期	「突き合い」などと呼ばれ市民にとっての身近な娯楽として最盛期を迎える。
昭和23年	連合軍総司令部(GHQ)により動物愛護などを理由に闘牛が禁止される。
昭和25年	愛媛、隠岐、越後の闘牛関係者等から陳情が繰り返され、再開
昭和30年	農業の機械化と都市化が急速に進み、衰退に向かい、和靈土俵場所を最後に闘牛大会は一度幕を閉じる。
昭和34年	闘牛復活の気運が盛り上がり、宇和島闘牛振興委員会が発足、大会(興行)が再開
昭和49年	「宇和島市闘牛運営審議会」が設立
昭和50年	全国にさきがけ、全天候ドーム型の闘牛場を完成
昭和60年	民間主導の「宇和島観光闘牛協会」が発足、宇和島市及び近隣町村の闘牛飼育者及び県外在住の闘牛オーナーが会員となり、地域観光への寄与並びに闘牛文化の保存伝承を目的に運営。
平成3年	「市政70周年記念・全国闘牛大会」開催
平成5年	「第2回全国闘牛大会」開催
平成7年	文化庁により、愛媛県南予地方の闘牛習俗が「記録作成等の措置を講ずるべき無形の民俗文化財」に選択される。
平成10年	島根県隠岐郡西郷町の提唱により「全国闘牛サミット協議会」が発足。関係市町村において現地で「全国闘牛サミット・全国闘牛大会」が開催される。
平成12年	築城400年祭記念事業として「第3回全国闘牛サミット・全国闘牛大会」開催
平成24年	えひめ南予いやし博2012の事業として「第15回全国闘牛サミット・全国闘牛大会」開催
平成27年	闘牛場の全面改修を行う。PRブースを開設するなどリニューアル。宇和島伊達400年祭記念イベントとして「宇和島伊達400年祭記念闘牛大会」開催
平成28年	「えひめいやしの南予博2016記念闘牛大会」開催
平成29年	「えひめ国体開催記念闘牛」開催

闘牛あれこれ

負けた方が高額?

闘牛では「給金」とよばれるファイトマネーが支給されます。宇和島では、牛主に対する思いやりの意味から、負けた方の牛に多く支払われます。宇和島ならではのうるわしき伝統です。

勢子(せこ)って何をする人?

牛に寄り添い牛を操って、勝利に導くために、危険と隣り合わせで介助する人のことです。宇和島では、牛1頭に勢子が1人を原則として、勢子が次々と交代します。

どんな訓練をしてるの?

闘牛用の牛は、和牛のオスで、牛の中のエリート仔牛選びの段階でふるいにかけられ、毎日のトレーニングで強い牛へと成長します。
日々、歩かせて足腰を鍛え、斜面を角で突くなぞして、首・肩の筋力トレーニングなどを行っています。

何を食べてるの?

飼育者それぞれの工夫による食事が与えられます。大会数日前からは減食させ、牛舎から出さず、これによって闘争心を引き立てることもあります。
大会直前となれば、生卵、マムシ酒、焼酎、緑茶、ピール、特製ジュース等を飲ませて興奮をあおることもあります。

定期闘牛大会	■開催日 1月2日・4月(第1回曜) 7月24日・8月14日 10月(第4回曜) 12:00~15:00頃(開場10:00~)
	■開催時間 大人・高校 3,000円 65歳以上・軽齢者 2,000円 中学生以下 無料 前売り有り 2,500円 ※インターネット予約可
	■入場料 10:00~12:00まで 駅前およびバスセンターから闘牛場へ 試合終了後に闘牛場より発車
その他	■無料バス運行 一結 64,800円~(要予約) 闘牛場は見学無料です。闘牛場内では、無料で闘牛PR動画をご覧になれます。(8:00~17:00 (土・日・祝・施設使用日を除く))
その他	■観光闘牛見学 申込み・問合せは

■宇和島市営闘牛場 TEL(0895)25-3511

愛媛県宇和島市和霧町496-2(JR宇和島駅より車で約7分)

■宇和島市観光物産協会 TEL(0895)22-3934



宇和島闘牛公式HP

宇和島闘牛

何を食べる?

飼育者それぞれの工夫による食事が与えられます。大会数日前からは減食させ、牛舎から出さず、これによって闘争心を引き立てることもあります。

大会直前となれば、生卵、マムシ酒、焼酎、緑茶、ピール、特製ジュース等を飲ませて興奮をあおることもあります。

定期闘牛大会	■開催日 1月2日・4月(第1回曜) 7月24日・8月14日 10月(第4回曜) 12:00~15:00頃(開場10:00~)
	■開催時間 大人・高校 3,000円 65歳以上・軽齢者 2,000円 中学生以下 無料 前売り有り 2,500円 ※インターネット予約可
	■入場料 10:00~12:00まで 駅前およびバスセンターから闘牛場へ 試合終了後に闘牛場より発車
その他	■無料バス運行 一結 64,800円~(要予約) 闘牛場は見学無料です。闘牛場内では、無料で闘牛PR動画をご覧になれます。(8:00~17:00 (土・日・祝・施設使用日を除く))
その他	■観光闘牛見学 申込み・問合せは

■宇和島市営闘牛場 TEL(0895)25-3511

愛媛県宇和島市和霧町496-2(JR宇和島駅より車で約7分)

■宇和島市観光物産協会 TEL(0895)22-3934

BULLFIGHTING!

闘牛場へ行こう!



闘牛場を楽しむ 6つのポイント

闘牛場ならではの楽しみ方をリサーチ!



闘牛VR動画体験も
できます!

宇和島市営闘牛場見取り図



何か売つて いるの?

大会当日は、宇和島名物じやこ天をはじめ、うどん（季節販売）や巻きずし、幕の内弁当や闘牛グッズ等を買うことができます。

どんな 雰囲気?

闘牛を見ての感想は、「こんなに牛が大きいとは思わなかつた」、「意外と動きが速かった」、「もっと定期闘牛大会の開催があればいいのに!」などなど、想像以上の姿や闘いぶりを見せてくれる牛たちに驚く人が多いようです。

見所が知りたい!

勢子とのお話しで試合のポイントが分かると、闘牛を一層楽しむことができます!
勢子は闘うために、どの牛がどんな性格なのかを熟知しています。
ただし勢子は試合の前準備で、忙しくしていることがほとんどですので、邪魔にならないタイミングを見計らって声をかけましょう。

3 いつも 闘牛観戦!

闘牛大会には定期開催の「定期闘牛大会」と「観光闘牛」の2種類があります。さらに、ご自宅でも好きな時に闘牛の様子を見たい!というご要望におこたえし、闘牛場で闘牛大会の様子を記録したDVDを販売しています。また、PRブースでは無料で闘牛PR動画が視聴できるほか、過去の闘牛の様子などがパネル展示されています。

4 牛をもっと 近くで見られる!

闘牛大会の試合以外で、牛を近くでもっと身近に感じられる場所。それは運搬場の“敢闘門(牛・関係者専用入口)”です。トラックから降りてくる様子や、入場を待つ様子を間近で見ることができます。試合前の興奮した牛を誘導する調教師の、緊張感あふれる様子は見たえがあります。

5 闘牛の素顔が のぞける!

闘牛場の横には、試合を控えた牛たちの待機場があります。会場入りした牛たちは、この場で闘志をみなぎらせ、今か今かと出番を待ちます。牛主や調教師、勢子達は、対戦相手の牛の仕上がりに探りを入れつつ、牛が最高の状態で試合に臨めるよう、最後の調整を行います。



横綱牛化粧廻し

取組表

